

家畜衛生だより

From 中央家保 豚用



中央家畜保健衛生所・中央動物防疫協議会
〒262-0011 千葉市花見川区三角町656
Tel: 043-250-4141 (夜間・休日対応)
Fax: 043-286-0090
(公社)千葉県畜産協会

群馬県前橋市・桐生市における豚熱発生を踏まえた 今後の発生予防対策について

第84回牛豚等疾病小委員会及び第16回拡大豚熱疫学調査チーム合同検討会において「豚熱64、71、73、74事例目調査報告・疫学検討結果」及び「群馬県前橋市・桐生市での豚熱発生状況を踏まえた提言」がまとめられました。

https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/eisei/usibuta_sippe/84/attach/pdf/211207-1.pdf

養豚農家向け発生予防対策

1. 農場周囲の消毒等

- ◎感染いのししの確認地点だけでなく、いのししの生息域全体に感染いのししが存在する可能性があることに注意が必要。
- ・農場周囲の餌場となりやすい場所、雑木林及び河川などのいのししが隠れる場所の伐採・整理整頓。
 - ・柵外側の定期的な消毒(農場周囲にいのししやウイルスを近づけない)。
 - ・農場内へのウイルス侵入を想定した、衛生管理区域内の定期的な消毒の徹底。

2. 離乳舎における衛生管理

◎発生は主に離乳者のワクチン接種前後の豚で確認。また、早期ワクチン接種した離乳豚群でも感染が確認されている。→ワクチンのみで防ぐのは困難！

(1) 豚舎に出入りする際にウイルスを持ち込まない衛生対策

- ・畜舎内用の長靴の履き替え(スノコや台で内・外を区切る。使用後の洗浄で有機物を除去してから消毒する。)
- ・畜舎内用衣服への更衣(使用後に洗浄、消毒しておくことが重要)
- ・畜舎立入り時の手指消毒
(消毒スプレーは、持ち手の部分も併せて消毒。手袋は軍手ではなくゴム手袋等の非浸透性で消毒効果が発揮できる素材。使い捨てもしくは使用後に洗浄・消毒)
- ・畜舎に持ち込む資材の消毒

(2) ネズミ等の侵入防止

- ・豚舎の壁や天井、扉、換気扇など隙間がしやすい場所の点検及び修繕
- ・殺鼠剤やネズミ捕りマットの設置→改善されない場合は外部専門家に依頼を！

3. 消毒液濃度及び交換頻度

- ・冬季の低い気温や有機物の存在を前提に、適切な濃度の消毒液を使用する。
踏み込み消毒槽は少なくとも1日1回は交換する。
- ・一輪車など外から持ち込む物品は全体を消毒する。

年末年始に向けて防疫対策の徹底を！

海外においては、中国、ベトナム、フィリピン等のアジアにおいて、アフリカ豚熱の発生が続発しています。また、旅客が違法に持ち込もうとした豚肉製品からもアフリカ豚熱ウイルス及びその遺伝子が検出された事例もあり、様々なルートから国内に侵入するリスクがあります。

豚熱についても、全国で発生が続いており、野生いのししにおける豚熱ウイルス陽性確認地域も拡大しています。

これらを踏まえ、人の往来が増加する年末年始に向けて、改めて防疫対策の徹底をお願いします。

1 早期発見・通報

- ・ 毎日（特に午前中）の健康観察
- ・ 特定症状等の異状が見られたら家畜保健所へ速やかに通報を！
☆年末年始は、人員や資材の確保に時間を要します。

2 農場への病原体侵入防止の再徹底

- ・ 看板の設置等により、関係者以外の人々の立入・不要な物の持ち込みを制限
- ・ 車両・人の出入りの厳重管理と記録
- ・ 防護柵、防鳥ネットの設置・修繕
- ・ 農場周辺の消石灰散布など、消毒の徹底



3 海外からの肉製品の持ち込み禁止

技能実習生等の外国人の従業員を受け入れている農場は、母国を含めた海外から肉製品が郵送されることのないよう注意喚起をお願いします。

4 海外渡航の自粛

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、不要不急の渡航を止めるよう呼びかけられているところではありますが、改めてアフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域への渡航の自粛をお願いします。

お問い合わせ・ご連絡は、千葉県中央家畜保健衛生所まで
TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送) FAX. 043-286-0090

再度、
ご確認を！

豚熱・アフリカ豚熱・口蹄疫の症状

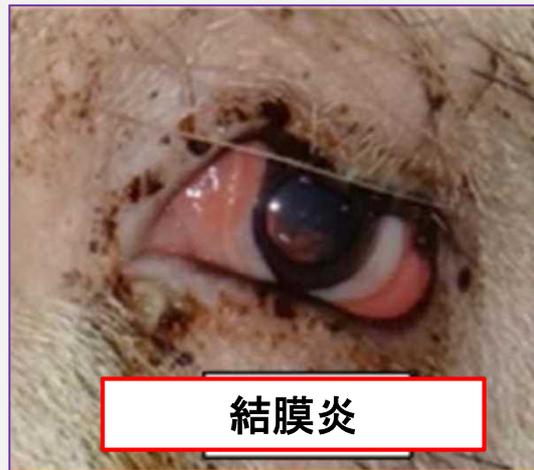
豚熱・アフリカ豚熱

- ・40℃以上の発熱
- ・元気消失、食欲不振
- ・天然孔からの出血、血便
- ・耳翼、四肢、下腹部などの紫斑
- ・便秘に続く下痢
- ・結膜炎(目ヤニ)など

アフリカ豚熱の症状は、
多岐にわたり、突然死亡
することもあります！！



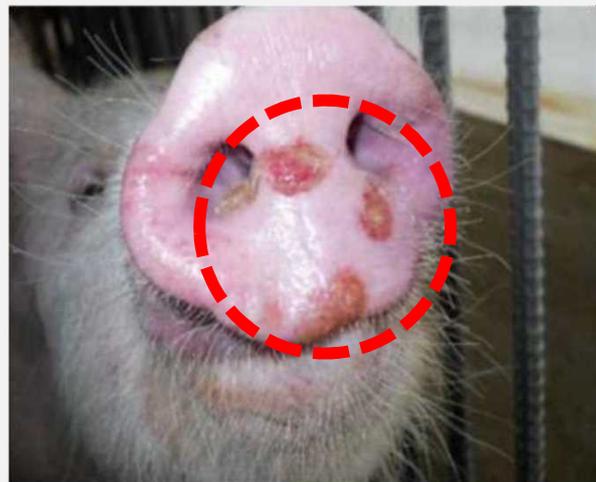
耳翼の紫斑



結膜炎

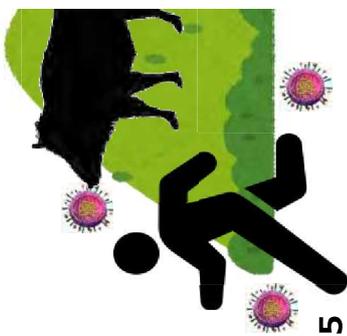
口蹄疫

- ・39℃以上の発熱
- ・多量の泡沫性のよだれ
- ・口・蹄などに水泡・びらん
- ・泌乳量の低下、泌乳停止など



豚熱感染いのしし生息エリアの養豚場における衛生対策のポイント

- 農場周囲の消毒等
 - 農場周囲の餌場となりやすい場所や雑木林などいのししが隠れる場所の伐採・整理整頓
 - 柵外側の定期的な消毒等により農場にいのしし・ウイルスを近づけない
 - 農場内へのウイルス侵入を想定した衛生管理区域内の定期的な消毒
- 離乳舎における衛生管理
 - 畜舎内用の①長靴の履き替え②衣服の更衣、③畜舎立ち入り時の手指消毒、④畜舎に持ち込む資材の消毒
 - 畜舎ネズミ等の侵入防止のため、壁や天井の点検及び修繕
 - 消毒液濃度及び交換頻度
 - 知事認定獣医師の教育
 - 山林等に入った際の注意



5

土を持ち込まない

2-(1)



①②専用靴・衣服の使用, ③手指消毒

2-(1)④



離乳豚や餌の運搬時には事前に
運搬用具全体と手指を消毒
(畜舎出入口でタイヤ周り再消毒)

1-③



区域内の定期消毒

1-②

柵外側の定期消毒



3 1日1回交換

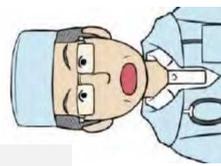


離乳舎

2-(2)



壁や天井の点検・修繕



4 衛生管理指導

衛生管理区域

